事業紹介「助け合い」

会員相互の助け合いからはじまったクローバー独自の自主事業です。介護保険や、障害者自立支援などの制度にとらわれず、会員であれば高齢者から子供まで年齢を問わず利用が可能。

家事援助や、身体介護などに限らず、家屋整理や、入院付き添い、育児支援など、これまで様々なニーズに対応してきました。介護保険の利用限度額を越えた場合にもご利用ができます。

▶4 月 1 日から新料金

当団体設立当初から続いているこの事業ですが昨今の物価高騰に加え、介護業界全体での深刻な人手不足の状況などを鑑み、職場環境の改善に向け 4 月より利用料金を以下の通り改定いたしました。ご理解のほどお願いいたします。

■会員について

(1)正会員　　年会費　1 口　5,000 円
※総会に参加して頂き、議決権を行使できます。
(2)協力会員　　年会費　1 口 1,000 円から
※総会にはオブザーバーとして参加できますが、
議決権はありません。

■助け合い料金(2026 年 4 月 1 日～)

基本利用料	**1,650 円／時間** (1,500 円＋消費税 150 円)	・月～金:午前 9 時～午後 6 時まで ・利用は最低 1 時間から、以後 30 分単位になります。
割増利用料	**1,980 円／時間** (1,800 円＋消費税 180 円)	・土・日・祝日及び年末年始(12/29～1/3)の利用 ・平日午前 9 時まで、午後 6 時以降の利用の場合。
交通費	**550 円／1 回** (500 円＋消費税 50 円)	・遠近を問わず一律です。
買物等 交通費	**21** 円／1km	・ヘルパー単独で買物等を希望された場合

※すべての会員には毎月「クローバーだより」をお届けします。
※京丹波町にお住まいの 65 歳以上の非課税世帯の方には、京都府の「日常生活支援事業」による減免があります。(減免には非課税証明書が必要。年間 1 人 1 万円という制限もあり)

NPO 法人クローバー・サービス
京都府船井郡京丹波町橋爪桧山 53
■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017
■e-mail: info@cloverservice.or.jp
■ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.cloverservice.or.jp

クローバー・デイサービスセンター
京都府船井郡京丹波町橋爪桧山 41-1
■TEL & FAX (0771)88-0138
■e-mail: day@cloverservice.or.jp

facebook QR

映画・本・歴史のこと

《第39回》和歌山の怪人たち

有田誠（ありたまこと）京丹波町在住の映画愛好家。
写真は、和歌山県東牟婁郡那智勝浦にて筆者撮影

父親の奥野健一は、田辺の人間である。一九五六年、最高裁判事となる。

青森発上野行列車が、現福島市松川で脱線転覆、乗務員三人が死亡した。松川事件（一九四九年八月十七日）である。国鉄、東芝の労組潰しのデッチ上げ事件で、幹部ら（ほとんどが共産党員）二十人が起訴された。一九六三年、ようやく完全無罪の判決がおりた。そのとき、奥野健一は、被告人たちに有利な判決を支持している。山本薩夫監督が、『にっぽん泥棒物語』（一九六五）で、GHQと吉田茂内閣の捏造事件として、痛快な喜劇に仕立て上げた。伊藤雄之助の怪演は忘れられない。

山口県の田布施（原発がらみで何十年も揺れる祝島はその沖合）で一九五一年に起きた八海事件。「疑わしきは罰せず」の原則で一九六八年、五人中四人の被告に無罪判決を出している。今井正監督が、『真昼の暗黒』（一九五六）として、映画化した。

さて、奥野健男の祖父健太郎は、一八六四年、白浜の南隣り日置（原発建設を阻止した町）から十五キロほど入った西牟婁郡小河内で生まれた。一八八一年の大水害のおり、十七歳で農民一揆を指導した。その水害補償金で、明治法律学校（現明治大学）に入学する。卒業後、田辺で弁護士を開業した。

日露戦争中、田辺町長に当選した。敗れた前町長片山省三も同じく弁護士。その息子が、戦後初の社会党総理大臣片山哲である。この親子も田辺の人間である。

荒畑寒村（当時十九歳）は、大阪から来た菅野スガ（二十六歳）と田辺で同棲していた。ともに「牟婁新報」の記者だった。同社に菅野を紹介したのは堺利彦である。菅野が大逆事件で処刑されるのは、この五年後である。寒村の下宿向かいは、南方熊楠宅だった。

和歌山と海外渡航

奥野健太郎の実兄に出谷英一という人物がいた。一八五八年小河内の生まれ。和歌山師範田辺分校を卒業、政治運動を志し、県議会議員に当選する。一八九五年、柳原白蓮、九条武子とともに大正三美人と言われた林きむ子の夫で、広島移民会社を経営した日向輝武らとハワイに渡る。

カメハメハ王朝のハワイは、米国に併合されかかっていた。出谷は、米国の侵略に対し、和歌山県人を中心に義勇軍を結成する。リリウオカラニ女王を擁立、ハワイ独立を目論んだが、失敗。帰国して自由党、憲政党から政友会党員として和歌山で活躍した。一九〇三年、伊藤博文ら政友会幹部が、桂太郎内閣の軍拡路線に妥協したのを怒り、出谷は県下の党員二百五十余人を率いて脱党した。

なお、林きむ子は新橋の料亭浜の屋の養女として育つ。浜の屋に何年も居ついていたのが、玄洋社の頭山満と杉山茂丸だった。きむ子は、藤田まことのおばさんである。

御坊には、一八八二年、田淵豊吉が生まれている。

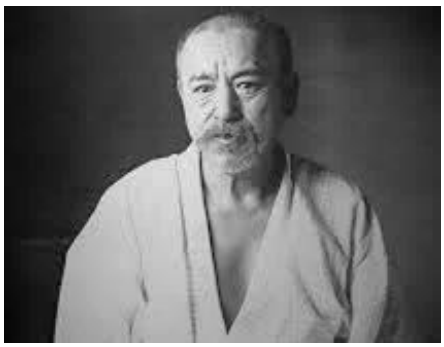
紀州田辺

化学者であり文芸評論家の奥野健男が書いている。

「ぼくの先祖たちには歴史を動かすような大人物はいないが、それでも幕末から明治、大正、昭和の日本の激動期に、それぞれの場所で、怒ったり、欺いたり、暴れたりして生きてきた」（ハワイ独立に賭けた南紀の青春）

田辺中学四年のとき、寄宿舎の待遇改善を叫んで、校長ボイコット、ストライキの首謀者となり放校。早稲田大学を卒業して米、英、独、仏に自費留学する。帰国後の一九二〇年、総選挙に出馬して当選。三七年まで当選五回、大政翼賛の時代に無所属を通した。米国との開戦に反対し、「いま、世界に大馬鹿者が三人いる。南にムッソリーニ、西にヒットラー、東に東条英機…」と論断した。

御坊市の西、日高郡美浜町の三尾（みお）は、一九五〇年、



南方熊楠(1867～1941)

南海バスの停留所三尾をアメリカ村と改称した。カナダのバンクーバーを中心とする漁業移民の土地である。

一九八〇年代、三尾の人口は八百九十人、世帯数三百七十六戸中、北米に移民した不在空家が四十戸だった。カナダなど海外居住者は、二世三世を含め、約五千人とのこと。

一九〇〇年、カナダのスティーブストンに加奈陀三尾村人会を結成、会員百五十人、一九一四年、カナダの三尾村人は千五百人だった。鮭漁、缶詰工場や製材業に携わる人が多かった。この二世らが、野球チームを一九〇七年に結成している。二〇一四年、『バンクーバーの朝日』（石井裕也監督）という映画になっている。新宮の大石誠之助が、米国オレゴン大学で医師免許を取得して、医師としてカナダのブリティッシュ・コロンビア州で働いていたとき、スティーブストンにもいた。彼は日清戦争終結の年、五年半ぶりに新宮に戻る。大逆事件で大石が処刑されるのは、この十六年後である。

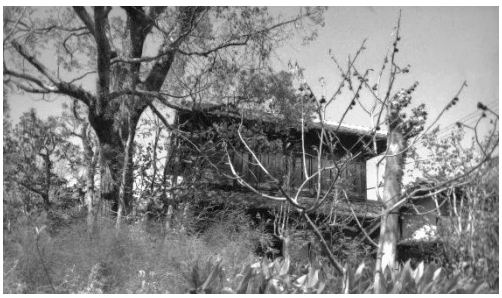
南方熊楠

三十年前、田辺高山寺の熊楠の墓に詣った。偶然、娘の文枝さんも見えていた。文枝さんには、『父南方熊楠を語る』という本もある。「合気道」の創始者、植芝盛平の墓も、すぐ近くである。田辺の生まれ、綾部に出口王仁三郎を訪ね、「植芝塾」を開設した。

熊楠の墓(田辺市稲成町、筆者撮影)

熊楠とは何者か。箇条書き風に書いてみる。

子供のときから、記憶力が抜群、英、独、仏、スペイン、ラテン、ギリシア語など十八言語に通じていた。生物、民俗、鉱物、文学、宗教など諸分野に専門家以上の学識があった。日本でも米国でも学校の教育がバカらしくなり、退学。暮らしのため、米国ではサーカスの象使いなどをする。ピストルを手に、キューバ革命の中に跳び込み、未発見の粘菌類などを捜す。ロンドンに渡り、大英博物館の嘱託となる。ここで孫文と出あう。親交を深め、孫文はのちに和歌山の熊楠を訪ねた。大英博物館の人種差別的な館員を殴って追放され、帰国。田辺に居を定め、那智の山中を踏査。国家が神社を取込み、国家神道化する動きに激怒、警察相手の乱闘で拘留される。



熊楠旧邸、隣接して顕彰館がある
（田辺市中屋敷町、筆者撮影）

一九二九年、田辺湾へ入港の御召艦「長門」で、昭和天皇に御進講。森永ミルクキャラメルに入れた菌の標本を献上する。

戦後、白浜に行幸した昭和天皇の御製

雨にけふる神島（かしま）を見て
紀伊の国の生みし
南方熊楠を思ふ

【処遇改善加算】変更のお知らせ

6月から制度改正により、当法人につきましては、下記の通り処遇改善加算を算定することになりました。

5月中旬より随時、各担当者がご説明に伺い、同意書等に署名をいただきます。よろしくお願いいたします。

■訪問介護

現在　　処遇改善加算Ⅱ（22.4％）

6月1日以降　処遇改善加算Ⅱロ（26.6％）

■障害居宅介護

現在　　処遇改善加算Ⅱ（40.2％）

6月1日以降　処遇改善加算Ⅱロ（44.1％）

■デイサービス

現在　　処遇改善加算Ⅰ（9.2％）

6月1日以降　処遇改善加算Ⅰロ（12.7％）

■ケアマネ

現在　　なし

6月1日以降　処遇改善加算（2.1％）

※ケアマネの処遇改善については、個人負担はありません。

<賛助会員>

（有）あさひ堂
（株）一谷住宅
イン・ザ・ルーム亀岡店
上段税理士事務所
（株）高木設備
たにやま鍼灸整骨院
田端輪業
（有）土佐寿司
（有）西村テレビ
みづほ電工
理容ちどり

（五十音順）

<通常総会のお知らせ>

2026年度通常総会を**5月23日（土）午前10時00分から**京丹波町商工会瑞穂支所2階にて開催します。

会員の皆様には、ご出席頂きますよう、お願い致します。

編集後記

新緑が萌ゆる季節になってきて、散歩をしていても淡い緑に染まる山々に、自然のエネルギーを感じます。もうすぐGW、5月4日の「みどりの日」は今の季節にピッタリな祝日ですね ▼かつては4月29日が「みどりの日」でしたが、今は「昭和の日」となっています。私の中ではまだピンとこないのですが、昭和天皇の誕生日でもあったこの日を「昭和の日」に変更したのは【昭和の様々な出来事を忘れずに国の未来へと活かす】という意味が込められているそうです ▼昭和から平成、令和へと時代は流れましたが、未だ一部のカレンダーには昭和〇〇年という文字も見かけます。平成・令和生まれの人達には昭和と聞くと大昔のように思われることでしょう。テレビのバラエティ番組などでも「昭和の時代はこうだった」「今では考えられない」などと言われたりしていますが、利便性があがり、多種多様な物であふれる今の時代よりも私の子供時代（昭和50～60年代）のほうが、心豊かに過ごせていた気がします ▼携帯電話もなく「インターネットもない時代、何が楽しかったの？」と若い子に言われるかもしれないですがそういうものがなかったからこそ、人々は直接つながり社会生活をおくっていました。「醤油が無くなったからお隣に借りに行く」なんて今の時代では考えられないことですがそれが普通でしたから… ▼とはいえ、スマホなしでは過ごせないようになってきました。テレビを見るよりもスマホを見ている時間の方が長いような気がします。ユーチューブや、SNSの動画などを見ているとあっという間に時間が過ぎてしまいます。最近よく見ているのは多言語を話す日本人の動画。数多な言語を使いこなし、世界各国の人たちと会話をされています。「つながりは世界へ！」ほんとすごい時代になりました。

〈編集子〉